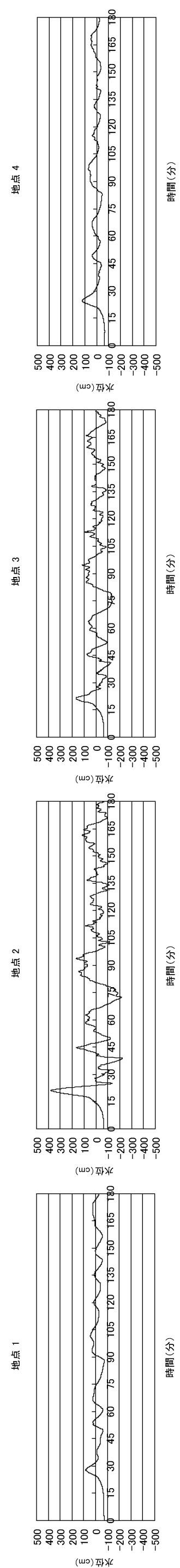


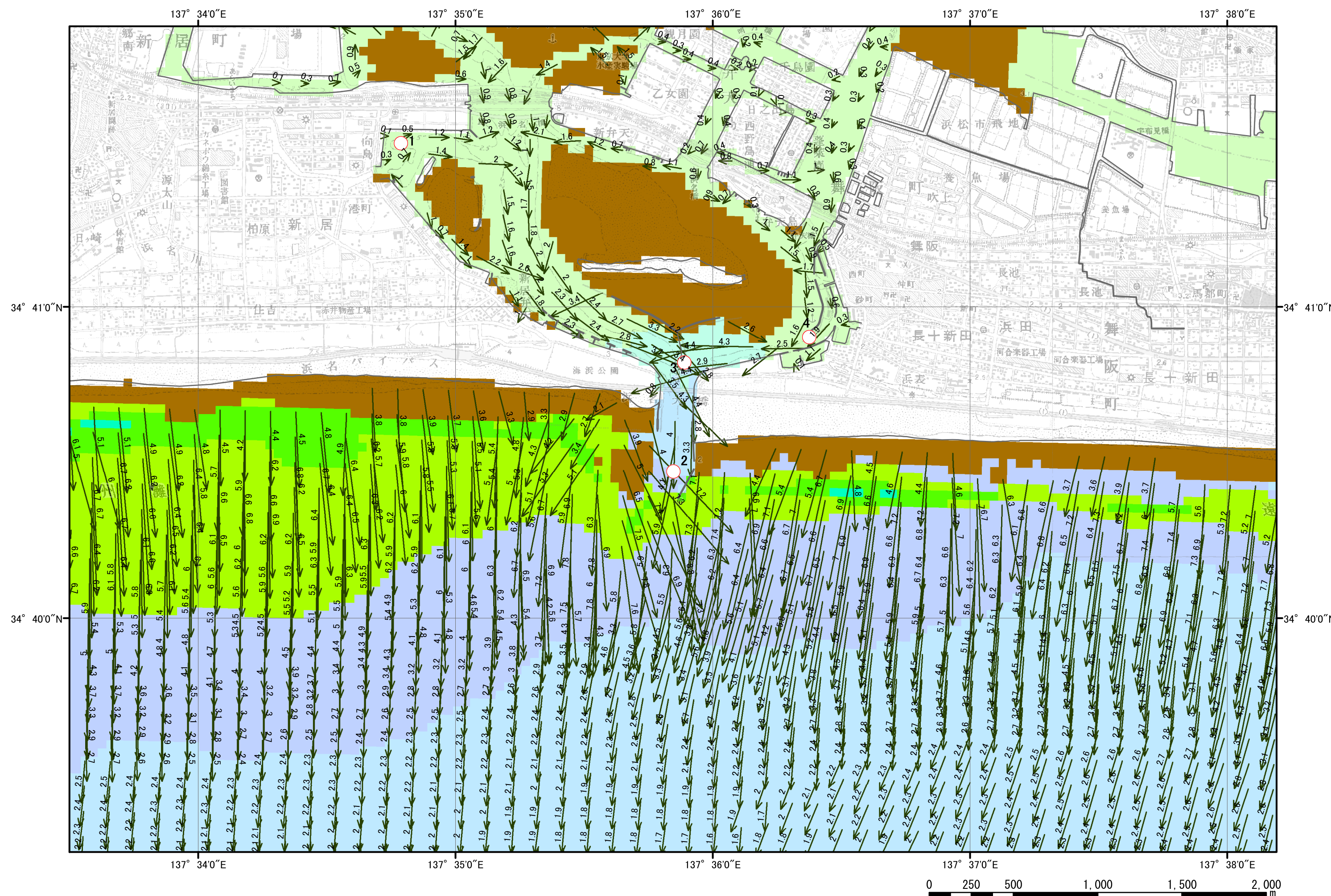
経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



## 浜名港 津波防災情報図(引潮図)

計算条件：最低水面  
隆起量：平均66cm(-77cm～-51cm)

- 津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。
- この地域は震源域である。震源域では、地震発生直後に津波が発生する可能性があるため、津波の到達時間は記載していない。



・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EG6500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。  
(承認番号 平15総復、第673号)  
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。  
(承認番号 平15総使、第672号)



1:20,000  
座標系:メルカトル図法  
測経系:世界測地系(WGS84)

### 凡例

- 露出域
- 経時変化図出力点

### 最大水位低下

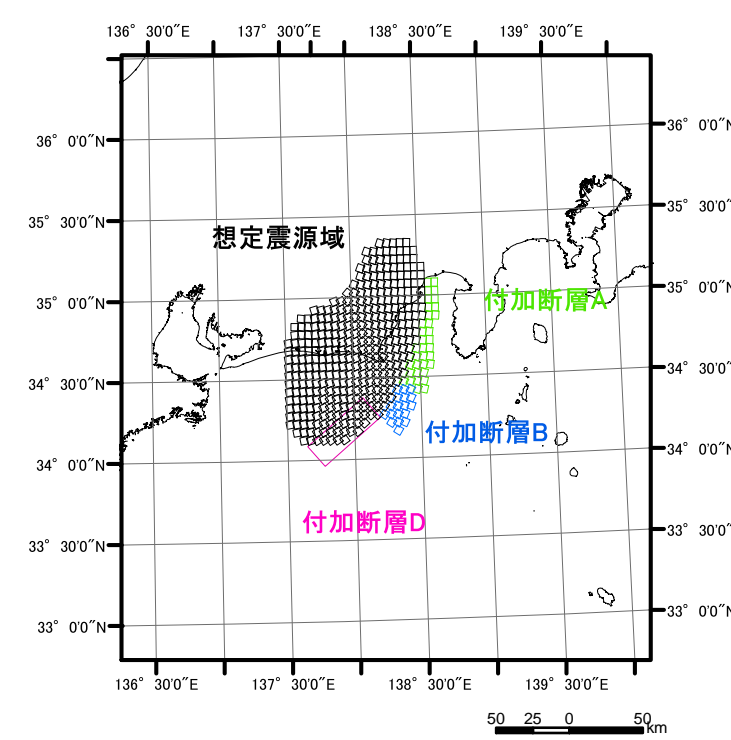
- 350～最大370cm
- 300～350cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm

### 引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

### 想定震源域と付加断層の位置



### 想定断層の要素

	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34° 45' N, 138° 02' E	19km
付加断層 A	34° 45' N, 138° 30' E	4km
付加断層 B	34° 15' N, 138° 20' E	6km
付加断層 D	34° 10' N, 137° 50' E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。

作成機関：海上保安庁  
作成年月：平成15年 3月(初版)  
第2回改訂：平成16年 3月(ver1.2)